

STAGE+を楽しむ(65)(HP 収載)
—エミリー・ポゴレルクの歌曲—

1. 始めに

前報(64)に引き続き、STAGE+のエミリー・ポゴレルクによる歌曲の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、エミリー・ポゴレルクの歌曲を選びました。

注目のソプラノ歌手、エミリー・ポゴレルクが多彩な歌曲に挑戦
ライジング・スター・シリーズ

収録日: 2022年9月22日

ソプラノのエミリー・ポゴレルクは、現在バイエルン国立歌劇場のアンサンブル・メンバーとして活躍中。本映像は、若く才能に溢れたアーティストを紹介する「ライジング・スター」シリーズに登場し、可憐かつ表現力豊かな歌唱を聞かせるポゴレルクが、多様な歌曲に挑戦した模様が収められています。グノーにフォーレ、ドビュッシーからリヒャルト・シュトラウスにブラームス、さらにはリー・ホイビーなど実に幅広いプログラムを自在に歌いこなす彼女の輝きはこれからのさらなる活躍を確信させるものです。

ソリスト:

クリス・レイノルズ (ピアノ)、エミリー・ポゴレルク (ソプラノ)

シャルル・グノー 《春の歌》CG 359

ヨハネス・ブラームス 9つの歌と歌曲 op. 63 より 第5曲: 青春の歌 I

リヒャルト・シュトラウス

クレメンス・ブレンターノの詩による6つの歌曲より 第4曲:

私にあなたの歌が響いたとき

フランツ・レハール 喜歌劇《ジュディッタ》第1幕より 《熱き口づけ》

クロード・ドビュッシー 《雅な宴》L. 80 より 第1曲: ひそやかに

アンドリュー・スー ティースデールの詩による歌曲より 第5曲:

夏の夜、リバーサイド

ジュール・マスネ 《秋の想い》

エドヴァルド・グリーグ 6つの歌 op. 48 より 第5曲: 薔薇の時に

リー・ホイビー 《レオンティンのための歌》より 第3曲: 秋

エーリヒ・ヴォルフガンク・コルンゴルト

《4つの別れの歌》 op. 14 より 第3曲：

月よ、もう一度行くのか

ナディア・ブーランジェ 《冬の夜に》

アレクサンダー・フォン・ツェムリンスキー

6つの歌曲 op. 13 より 第5曲：もし彼がいつか帰ってきたなら

ガブリエル・フォーレ 《優しい歌》 op. 61 より 第9曲：冬は終わった



若く才能に溢れたアーティストを紹介する「ライジング・スター」シリーズの収録で新進のソプラノ歌手エミリー・ポゴレルクが、ククリス・レイノルズのピアノ伴奏で歌います。

収録はライブものではなくて、スタジオ収録のようです。ポゴレルクは声量豊かにはりのある声で、多彩な歌曲とオペラのアリアを、曲によってダイナミックに、また切々と歌いあげていきます。レイノルズのピアノもリアルに響かせています。



以上